

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	診療画像検査学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	通年	教室名	第3校舎 702教室
担 当 教 員	前期:中岡 大輔(1~8) 後期:石本 健	実務経験と その関連資格	(中岡)警和会大阪警察病院で放射線診断と放射線治療の両部門で実務経験があり、Angio業務にも従事した。 (石本)医療法人藤井会石切生喜病院で一般撮影・CT・MRI・PET・Angio・放射線治療業務の検査に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
X線TVシステムの基本構成を概説。カテーテル診断・治療で用いる循環器X線装置とその周辺機器の概要と管理のありかた。X線装置以外の画像診断装置(IVUS、OCT)の画像診断と管理。他モダリティ(特にCT,MR)との連携。インターベンションに対する画像の評価。救急時の対応。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「放射線機器学(1)」編:青柳康司						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
X線発生装置の基本構成を知ること、X線が人体にどのように作用するのかをより深く学ぶことができます。また、X線透視システムの基本構成と様々な検査を知ること、診療放射線技師としての役割を理解し説明できるようになってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の歴史と手技の準備や流れの現況を理解してもらう。□	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
	講義形式	各コマにおける授業予定	血管内治療(インターベンション)の歴史と現況□			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握Ⅰ	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
	講義形式	各コマにおける授業予定	心臓血管カテーテル検査Ⅰ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握Ⅱ	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
	講義形式	各コマにおける授業予定	心臓血管カテーテル検査Ⅱ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握Ⅲ	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
	講義形式	各コマにおける授業予定	心臓血管カテーテル検査Ⅲ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握Ⅳ	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
	講義形式	各コマにおける授業予定	心臓血管カテーテル検査Ⅳ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握V	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	心臓血管カテーテル検査V		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握VI	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	心臓血管カテーテル検査VI		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(心臓カテーテル検査)の総まとめ	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	心臓カテーテル検査の全項目のまとめ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の歴史と手技の準備や流れの現況を理解してもらう。□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	血管内治療(インターベンション)の歴史と現況		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握I□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	脳血管造影		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握II□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	腹部血管造影I		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握III□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	腹部血管造影II		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握IV□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	下肢血管造影I		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握V□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	その他血管系造影□		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療(インターベンション)の各検査内容の把握VI□	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		各コマにおける授業予定	その他血管系造影□		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	診療画像検査学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	通年	教室名	第3校舎 702教室
担当教員	前期:中岡 大輔(1~8) 後期:石本 健	実務経験と その関連資格	(中岡)警和会大阪警察病院で放射線診断と放射線治療の両部門で実務経験があり、Angio業務にも従事した。 (石本)医療法人藤井会石切生喜病院で一般撮影・CT・MRI・PET・Angio・放射線治療業務の検査に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
X線TVシステムの基本構成を概説。カテーテル診断・治療で用いる循環器X線装置とその周辺機器の概要と管理のありかた。X線装置以外の画像診断装置(IVUS、OCT)の画像診断と管理。他モダリティ(特にCT、MR)との連携。インターベンションに対する画像の評価。救急時の対応。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「放射線機器学(1)」編:青柳康司						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
X線発生装置の基本構成を知ること、X線が人体にどのように作用するのかをより深く学ぶことができます。また、X線透視システムの基本構成と様々な検査を知ること、診療放射線技師としての役割を理解し説明できるようになってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	非血管内治療の歴史と手技の準備や流れの現況を理解してもらう。□	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
		各コマにおける授業予定	非血管系腹部造影検査Ⅰ			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	非血管内治療の各検査内容の把握Ⅰ□	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
		各コマにおける授業予定	非血管系腹部造影検査Ⅱ			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	非血管内治療の各検査内容の把握Ⅱ□	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
		各コマにおける授業予定	非血管系腹部造影検査Ⅲ			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	非血管内治療の各検査内容の把握Ⅲ□	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
		各コマにおける授業予定	胃透視検査の準備や検査内容Ⅰ			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	非血管内治療の各検査内容の把握Ⅳ□	授業前に配布している資料、教科書□ □	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習□ □	
		各コマにおける授業予定	胃透視検査の準備や検査内容Ⅱ			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標 非血管内治療の各検査内容の把握V	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	各コマにおける授業予定	下部消化管造影検査		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標 非血管内治療の各検査内容の把握VI	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	各コマにおける授業予定	その他非血管系造影検査		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標 血管内治療検査+非血管内治療検査の総まとめ	授業前に配布している資料、教科書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業終了時に示す課題を実施しておくこと 配布した資料を見て復習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	各コマにおける授業予定	前項目の要点をまとめる		